

株式会社関電工様 平成30年度技術・技能競技大会

平成30年10月17日

セリングビジョン株式会社

本日は、株式会社関電工様が毎年1回、関電工人材育成センター（茨城県牛久市）で開催する技術技能競技大会にご招待いただき、岡部社長、里見常務が参加いたしました。この大会は、配電・情報通信部門等の技術の深化・技能の継承を目指して、技能競技、作業実演、各種技術の展示・実演・講演が実施されています。本年は、過去に比べて多くの関係企業から大勢の参加者があり、電力インフラを支える技術、人材への関心の高まりを感じ取ることができました。

今回の展示、実演において、電柱、鉄塔での配電・通信等の工事や、オフィス・家庭での模擬配電板で配線工事などの実技が視察でき、次世代の若い技術・技能者らが現場で実践的な腕を競っていました。

新たな技術として、次の3テーマに関心を持ちました。

一点目は、ドローンによる自動照度測定ロボット「飛んで測るくん」の特別実演は、大勢のお客様の注目を集めており、ICTを電力の現場に利活用することへの期待の高さがうかがえました。

二点目は、非常用LPガスエンジン発電機に関心を持ちました。停電時にバックアップ電源として働き、BCP（事業継続計画）を実現します。この発電機は、電力系統が調整用等に必要な時には、アグリゲーターからの指令に応じて、電力を供給するVPP（仮想発電所）にも使用することができる優れたものであることが分かりました。

また蓄電池の遠隔点検は、屋外に設置された蓄電池の劣化状態を点検するために点検者を現場に派遣する必要性を不要にします。これにより、定期点検ではなくて、コンディションベースの保守が可能となり、併せて劣化時期の予兆が可能となることが分かりました。

今回の技術・技能競技大会への参加を通じて、安全で効率的かつ環境にも配慮した新たな技術開発や、情報通信技術と電力技術の融合によるAI・IoTの現場への適用、災害時のBCP対応、リモートメンテナンスによるコストダウン等に積極的に取り組まれていることを実際にみることができ、大変勉強になりました。

弊社も自治体・企業向けに非常対策商品を販売しつつ、防災減災、BCP対応コンサルティング、電力のブラックアウト対策サービスを提供している電力関係会社であり、今後ともその一翼を担っていきたいと考えます。

<問い合わせ>

セリングビジョン株式会社 営業本部

〒105-0003

東京都港区西新橋 1-9-1 ブロドリー西新橋ビル 8F

TEL 03-5251-3101

FAX 03-5251-6020



(架空配電線作業工事の競技)



(ドローン型自動照度測定実演)



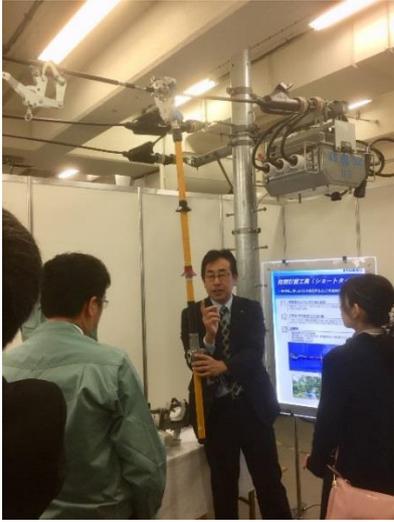
(非常用 LP ガスエンジン発電機のデモンストレーション)



(パワーサプライの遠隔点検)



(内線作業工事の競技)



(柱間引留工具使用実演)



(鉄塔送電線架線作業実演)



(地中配電部門実演)



(防災環境面からの無電柱化対策)